

# 『HUコンステレーション・プログラム』 サステナビリティプログラム 履修の手引き【**学生用**】



R8 (2026)年度

北海道大学 サステナビリティ推進機構  
SDGs事業推進部門

2026.4.6

はじめに

## ✓ 『HUコンステレーション・プログラム』

急激な社会変革により将来を予測するのが困難な時代となり、また限られた一専門分野の知識だけでは解決できない課題が生じている中で、専門的知識と運動し、それを拡大、強化する総合的な知としての教養が社会から強く求められています。

北海道大学は、こうした状況を踏まえて、現行の専門教育を補完するプラスアルファの教養教育の仕組みの一つとして、これまでの基盤的な教養教育の内容をさらに深化させるとともに、全学教育と学部専門教育を視野に入れつつ、各領域を横断する教育プログラムならびに各領域内を縦走する教育プログラムを充実させ、これら複数の教育プログラムを包括した枠組み『HUコンステレーション・プログラム』を2026年4月学部入学生より開始します。

『HUコンステレーション・プログラム』(HUコンステ)の基本構想は、大学全体で推進する特定テーマによる複数の教育プログラムから構成されます。2026年度は、『新渡戸カレッジ』(継続)と『サステナビリティプログラム』(新規)が開設され、2027年度以降、順次教育プログラムが拡充される予定です。

## ✓ 『教育プログラム：サステナビリティプログラム』

サステナビリティ(持続可能性)や持続可能な開発目標(SDGs)の思考は、文系・理系によらず、大学のどの学部専門分野へ進級しても共通に求められるプラスアルファの教養スキルとなります。すなわち、専門教育という「深さ」と教養教育という「広さ」の両者をサステナビリティという軸で結びつけられる厚みのある教養スキルの獲得は、複雑に絡み合う現代社会において、バラバラの知識「点」をつなぎ合わせ、新しい未来の形「発想力」を描き出す「知の技法」(総合知・知の統合/集合のデザイン力)を育みます。

この資料はHUコンステ『サステナビリティプログラム』履修の手引き(学生用)です。プログラム参加学生はウェブページでデータベース科目一覧と履修要件を確認し、プログラム修了(オープンバッジ取得)に向けて学習に取り組むことを想定しています。

このプログラムによって学生のサステナビリティ教養力とこれにつながる専門分野の学びが深まり、将来の多様な社会で活躍できるキャリア形成の土台になることを期待します。

2026年2月  
サステナビリティ推進機構  
SDGs事業推進部門

『HUコンステレーション・プログラム』：サステナビリティプログラム  
履修の手引き【学生用】  
2026

目次

コラム ..... 2

1. HUコンステレーション・プログラムについて

HUコンステレーション・プログラムについて（総合教育部便覧） ..... 3

サステナビリティプログラムについて（総合教育部便覧） ..... 3

2. HUコンステ：サステナビリティプログラム (SP) について

2.1. 実施概要 ..... 4

2.2. 履修モデル ..... 5

2.3. SP指定科目(必修) [全学教育科目] ..... 6

3. サステナビリティプログラム授業科目とSPDBについて

3.1. サステナビリティプログラムデータベース(SPDB) ..... 7

4. サステナビリティプログラム実施スケジュール

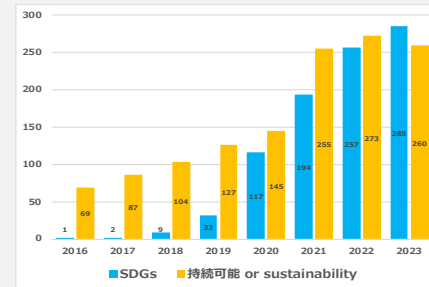
4.1. プログラムの説明ガイダンス・履修・参加・修了 ..... 10

5. Q&A

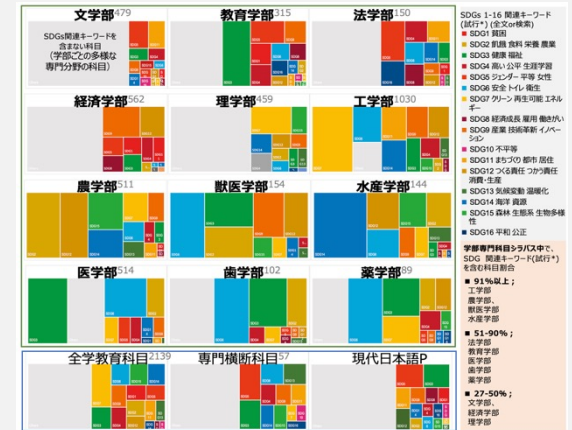
5.1. サステナビリティプログラム Q&A ..... 11

コラム 既存科目のサステナビリティ関連科目の可視化（北海道大学シラバスデータベースより）

- 北海道大学が開講している全学教育課程、12学部の専門教育課程の授業科目は、シラバスのキーワード等記載から授業内容を分類することができます。事前調査結果（左図）に示すように、『SDGsやサステナビリティ・持続可能』を含むシラバスが増加しています。
- また全学教育科目と12学部の専門科目でもSDGs関連キーワードを含む授業が多数開講されています（右図）。
- これらの既存科目の教育実績を踏まえ、サステナビリティプログラムをHUコンステレーション・プログラムの枠組みで始めました。



サステナビリティ関連科目：『SDGs or サステナビリティ / サステナビリティ / 持続可能』を含むシラバスが増加。また全学教育科目、12学部の専門科目でもSDGs関連キーワードを含む授業が開講されている。



出典：1. 各部署等で開催の出張FDSD研修2022-2025（サステナビリティ推進機構主催）、  
2. 全学教育科目：北大での学び 第6回「世界的な課題を知る（SDGs教養）」  
3. ウェブ公開「北大で学ぶSDGs」, p10, <https://sdqs.hokudai.ac.jp/for-future-students/learning-sdgs/>

# 1. HUコンステレーション・プログラム (R8総合教育部便覧版)

## HUコンステレーション・プログラムについて

基本方針  
令和7年12月25日 教育改革室  
令和8年1月22日 教務委員会

**学びをつなぎ、未来を描く**  
急速に変化する時代。未来を予測することが難しくなり、一つの専門分野だけでは解決できない課題が増えています。こうした変化に対応すべく、札幌農学校時代からの伝統的なリベラルアーツ教育と専門教育を組み合わせ、より広い視野と深い学びを育む新たな枠組み、『**HU (Hokkaido University) コンステレーション・プログラム**』（略称：**HUコンステ**）を構築しました。

**HUコンステとは？**  
『HUコンステレーション・プログラム（以下、HUコンステ）』とは、各領域を横断し、領域内を縦走する複数の教育プログラムを包括する枠組み全体を称したものです。  
HUコンステは、星座（＝コンステレーション）をモチーフとし、授業を星に見立て、それらを組み合わせる星座を描くような学びを促進する設計をしています。  
自身の興味に合わせて教育プログラムを選び、科目を意識して履修することで、専門だけでなく幅広い視点を身につけ、社会のさまざまな課題に対応できる力を養うプログラムです。

- 身につく力**
- ◆自身のキャリアプラン実現に必要なプラスアルファの能力・スキル等を獲得するなど、学生の将来を見据えた主体的な学びが促される
  - ◆固定的な思考にとどまらず、柔軟な発想のもと、創造的な力が身につく
  - ◆領域の異なる学生同士が、各専門知識を生かしつつ、ともに学修することができる
  - ◆学年の異なる学生同士が、いわば対等な関係性の中、学修することができる
  - ◆専門的知識に加えて、今後、求められる総合的な知が修得できる

**教育プログラムについて**

各教育プログラムは、ある特定のテーマについて、下図のように複数の科目の組み合わせで成り立っています。それにより、テーマに関連した能力を明示的に身につけられるようになっています。

全学教育科目	学部専門科目	専門横断科目	国際交流科目
--------	--------	--------	--------

令和8年度は以下の2つの教育プログラムから開始します。※段階的に拡充予定です

～教育プログラム～	～プログラムテーマ～
新渡戸カレッジプログラム	グローバルリーダーの育成
サステナビリティプログラム	持続可能な社会の創り手の育成

○対象課程：学士課程  
○各教育プログラムを修了認定すると、オープンバッジ又は北大バッジが発行されます。  
※教育プログラムによってはオープンバッジ又は北大バッジ以外の形で修了認定を行う場合があります。  
※修了認定は構成する各プログラムにて行います。  
※修得した単位は、各学部規程において定められている範囲で、進級・卒業に必要な単位として認められます。

**各教育プログラムの参加手順**

各教育プログラムは、基本的に事前の参加登録が必要となっています。

「何を学びたいのか」「どんな力を身につけたいのか」学生自身で主体的に意識して履修することをHUコンステでは求めています。

興味がある学生は参加登録を行い、教育プログラムに参加してください。

参加手順の概要は以下のとおりです。詳しくは各教育プログラムの案内を確認してください。

選択	・自身の興味のある教育プログラムを選択
登録	・教育プログラムに参加登録
履修	・各教育プログラムで設定されているテーマに沿って、科目を履修
修了	・修了認定→デジタルバッジ発行

## HUコンステレーション・プログラム「サステナビリティプログラム」について

▼なぜHUコンステでサステナビリティなのか？  
HUコンステレーション・プログラムは、リベラルアーツ教育から、専門的知識と連動し、それを拡大・強化していくためのプログラムです。「持続可能な社会の創り手」は、一般的な教養だけでなく高度な教養を基礎とした上で、専門的な知識を、それぞれの分野で発揮していくことが求められており、HUコンステのコンセプトに一致しています。全学教育科目と2年次以降の専門教育科目で提供される授業科目から「サステナビリティ」を意識的に選択する履修デザインは、専門分野とサステナビリティ思考をつなげる「厚みのある教養力」が身につくことが期待されます。

▼概要  
サステナビリティプログラムでは、本学の「基本理念」（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）及び「HU VISION2030（持続可能性の追求）」に基づきつつ、各々の学問分野における専門性を修得しながら、分野横断的な教育プログラムの学びや社会共創の場などを通して、次に記す4つの力（リテラシー・スキル・マインド）を身につけ、それらを発揮できる「持続可能な社会の創り手」となる次世代人材を育成します。

- ▼習得できる能力
- ・サステナビリティ・リテラシー（SDGs・サステナビリティの基礎知識と展開スキル）
  - ・コミュニケーション力（コミュニケーション、チームワーク・リーダーシップ）
  - ・持続可能な社会デザイン力（多様で持続可能なwell-being社会を共創する創造性・チャレンジ精神）
  - ・社会的倫理観（社会倫理・社会貢献の精神を涵養する力）

▼授業科目

科目名	単位	開講時期	備考	
必修科目	全 北大での学び	1	1学期	4単位を修得すること
	全 サステナビリティ入門	2	2学期	
	全 発展科目（科目名未定）※	1	集中	※発展科目は2027年度より開講
選択科目	全 一般教育演習（*指定科目）	2		6単位以上を修得すること
	全 総合科目（*指定科目）	1又は2		
	全 主題別科目（*指定科目）	1又は2		
	専 専門横断科目（*指定科目）			2単位以上を修得すること
専 学部専門科目（*指定科目）				

（注）「全」：全学教育科目、「専」：専門教育科目  
\*指定科目：サステナビリティプログラムデータベース（SPDB）登録科目から選択（サステナビリティ推進機構のウェブページ内で明示）

▼参加要件  
1学期終了時に合わせて、サステナビリティプログラム参加希望者を対象とする試験を実施します。この試験に合格することが参加要件となります。試験の詳細は「北大での学び」を通してELMSメールで連絡します。試験に合格する前に修得した単位も、本プログラムにおいて有効となります。

▼修了要件  
サステナビリティプログラムが指定する授業科目の中から計12単位以上修得すること。

▼修了証明  
修了者には、修了時点で「オープンバッジ」を授与します。

▼プログラム実施主体とウェブページ  
サステナビリティ推進機構（SDGs事業推進部門）  
<https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/initiative/engagement/>  
（「エンゲージメントの醸成」ページ内の「教育」コンテンツに情報が示されます。）

【参考】2026年度開講必修科目「サステナビリティ入門」紹介  
2学期、金曜5講時に開講されます。  
2026年度に開講する「サステナビリティ入門」では、国連大学SDG大学連携プラットフォーム(SDG-UP)によって制作された合同教育コンテンツを使用した反転授業を実施します。単位修得者には「国連大学SDG-UPの修了認定証」も発行されます。  
本学の教育コンテンツの他に、関西学院大学、大阪大学、東京都市大学、上智大学、愛媛大学、ノートルダム清心女子大学、奈良教育大学、東海大学、北九州市立大学から提供された教育コンテンツを活用して学びを行います。

授業科目の補足説明は次ページへ

## 2.1 実施概要

### ▼なぜHUコンステでサステナビリティなのか？

HUコンステレーション・プログラムは、リベラルアーツ教育から、専門的知識と連動し、それを拡大・強化していくためのプログラムです。「持続可能な社会の創り手」は、一般的な教養だけでなく高度な教養を基礎とした上で、専門的な知識を、それぞれの分野で発揮していくことが求められており、HUコンステのコンセプトに一致しています。全学教育科目と2年次以降の専門科目で提供される授業科目から"サステナビリティ"を意識的に選択する履修デザインは、専門分野とサステナビリティ思考をつなげる「厚みのある教養力」が身につくことが期待されます。

### ▼概要

サステナビリティプログラムでは、大学の「基本理念」(フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視)及び「HU VISION2030 (持続可能性の追求)」に基づきつつ、各々の学問分野における専門性を修得しながら、分野横断的な教育プログラムの学びや社会共創の場などを通して、次に記す4つの力(リテラシー・スキル・マインド)を身につけ、それらを発揮できる「持続可能な社会の創り手」となる次世代人材を育成します。

### ▼修得できる能力

- ・サステナビリティ・リテラシー (SDGs・サステナビリティの基礎知識と展開スキル)
- ・コミュニケーション力 (コミュニケーション、チームワーク・リーダーシップ)
- ・持続可能な社会デザイン力 (多様で持続可能なwell-being社会を共創する創造性・チャレンジ精神)
- ・社会的倫理観 (社会倫理・社会貢献の精神を涵養する力)

### ▼授業科目

(右表)

### ▼参加要件

1学期終了時に合わせて、サステナビリティプログラム参加希望者を対象とする試験を実施します。この試験に合格することが参加要件となります。試験の詳細は「北大での学び」を通してELMSメールで連絡します。試験に合格する前に修得した単位も、本プログラムにおいて有効となります。

### ▼修了要件

サステナビリティプログラムが指定する授業科目の中から計12単位以上修得すること。

### ▼修了証明

修了者には、修了時点で「オープンバッジ」を授与します。

### ▼プログラム実施主体とウェブサイト

サステナビリティ推進機構 (SDGs事業推進部門)  
公開資料HUコンステ「サステナビリティプログラム」  
<https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/library/documents/constellation/>



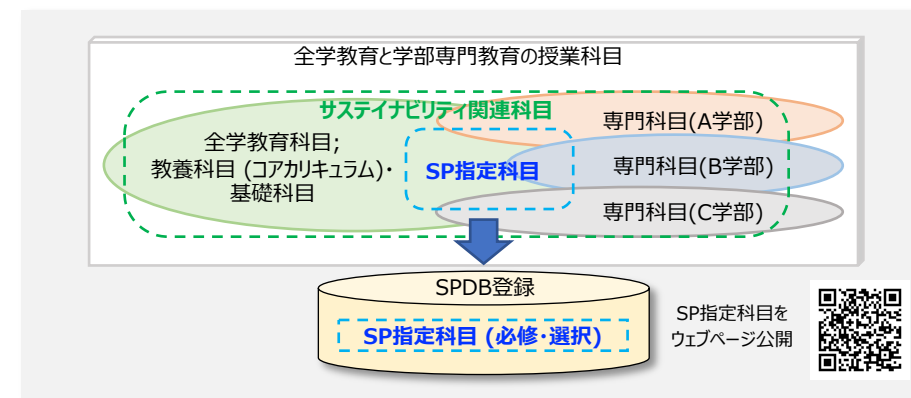
### ▼問い合わせ

サステナビリティ推進機構 SDGs事業推進部門  
・メール: [contact@sustainability.hokudai.ac.jp](mailto:contact@sustainability.hokudai.ac.jp)

		SP指定科目 (必修・選択)	単位	1学期科目数	2学期科目数	備考
① 必修科目	全	北大での学び	1	1	—	4単位を修得すること ※発展科目は2027年度より(集中)開講
	全	サステナビリティ入門	2	—	1	
	全	発展科目 (科目名未定) ※	1	—	—	
② 選択科目	全	一般教育演習 (*指定科目)	2	15(うち集中9)	13(うち集中4)	6単位以上を修得すること
	全	総合科目 (*指定科目)	1又は2	14(うち集中4)	5	
	全	主題別科目 (*指定科目)	1又は2	9	11	
	専	専門横断科目 (*指定科目)		—	—	2単位以上を修得すること 2027年度より指定
	専	学部専門科目 (*指定科目)		—	—	

(注)「全」: 全学教育科目、「専」: 専門科目

\*指定科目: サステナビリティプログラムデータベース(SPDB)登録科目から選択 (サステナビリティ推進機構のウェブページ内で明示)



### サステナビリティプログラム(SP) 指定科目の選出と SPDB登録

- ・全学教育科目; 教養科目 (コアカリキュラム)・基礎科目および専門科目では、サステナビリティ関連科目が多数開講されています。サステナビリティプログラム(SP)のための授業科目 (SP指定科目) はこのサステナビリティ関連科目から選出します。
- ・① SP指定科目 (必修) は全学教育科目で構成し、2026・2027年度に分けて順次開講します。

- ・② SP指定科目 (選択) は全学教育科目と専門科目から構成します。2026年度は全学教育科目枠から、専門科目枠は2027年度からそれぞれ指定します。
- ・SP指定科目の更新は、各学部と連携するサステナビリティプログラム連絡会議 (仮称) で調整します。
- ・選出したSP指定科目はサステナビリティプログラムデータベース (SPDB)に登録・一般公開します。(p.7-9)

## 2.2. 履修モデル (2026年度4月入学者用)

## サステナビリティプログラム ; 2026~2027年度履修モデル (2026年度4月入学者用)

サステナビリティプログラム(SP)のための 指定授業科目		単位	2026年度 1学期 科目数	2026年度 2学期 科目数	備考	計12単位 以上修得	2026年度履修 (総合教育部1年次) 全学教育科目<3単位+6単位以上>	2027年度履修 (学部・学科移行後2年次) 全学教育科目<1単位> 専門科目<2単位以上>	
必修科目	全 ①北大での学び	1	1	-	4単位を修得すること ※発展科目は 2027年度より開講	1年1学期 1年2学期 2年1学期	<b>&lt;3単位修得&gt;</b> <b>1学期 (春ターム・集中・オンデマンド) :</b> ① 北大での学び [1単位] [参加要件の試験実施*] <b>2学期 (金曜5限) :</b> ② サステナビリティ入門 [2単位]	<b>&lt;1単位修得&gt;</b> <b>1学期 (集中) :</b> ③ 発展科目 (科目名未定) [1単位]	
	全 ②サステナビリティ入門	2	-	1					
	全 ③発展科目 (科目名未定) ※	1	-	-					
選択科目	全 一般教育演習 (SP指定科目)	2	15 (うち集中9)	13 (うち集中4)	6単位以上を修得すること	1年1学期 1年2学期	<b>&lt;6単位以上修得&gt;</b> <b>1学期・2学期</b> ・一般教育演習 (SP指定科目) [2単位] ・総合科目 (SP指定科目) [2単位] ・主題別科目 (SP指定科目) [2単位]	<b>1学期・2学期</b> (SP修了要件に必要な場合は追加履修)	
	全 総合科目 (SP指定科目)	1又は2	14 (うち集中4)	5					
	全 主題別科目 (SP指定科目)	1又は2	9	11					
	専 専門横断科目 (SP指定科目) ※		-	-	2単位以上を修得すること ※専門科目は 2027年度より指定	2年1学期 以降		<b>1学期以降 &lt;2単位以上修得&gt;</b> ⇨ (専門科目の選択肢は3パターン) ・所属学部・学科等の専門科目 (SP指定科目) [2単位] (# <sup>1</sup> ) ・または他学部等専門科目 (SP指定科目) [2単位] (# <sup>2</sup> ) ・または専門横断科目 (SP指定科目) [2単位] (# <sup>2</sup> )	
	専 学部専門科目 (SP指定科目) ※		-	-					
(注) 「全」: 全学教育科目、「専」: 専門科目 ・2026年度開講のSP指定科目 (必修・選択) は、2026年度版サステナビリティプログラムデータベース(SPDB)掲載の科目から選択、シラバスの内容を確認してから履修登録してください。 (p.7-9) ・2027年度開講のSP指定科目 (必修・選択) は、2027年度版SPDB (掲載予定) から選択してください。 <b>▼参加要件</b> ・1学期終了時に合わせて、サステナビリティプログラム参加希望者を対象とする試験を実施します。この試験に合格することが参加要件となります。 ・試験の詳細は①「北大での学び」を通してELMSメールで連絡します。 ・試験に合格する前に修得した単位も、本プログラムにおいて有効となります。 <b>▼修了要件</b> <b>サステナビリティプログラムが指定する授業科目の中から計12単位以上修得すること。</b> <b>●プログラム修了者のリテラシー評価と特典 (予定)</b> ・プログラム修了者対象のリテラシー評価 (理解度チェック) ・特典: 「国連大学SDG-UPの修了認定証」発行、国際標準サステナビリティ・リテラシー評価など						<b>●注意事項</b> ・1学期・履修登録ガイダンスでプログラム説明会の実施方法を案内します。 ・* 1学期終了時: サステナビリティプログラム参加希望者を対象とする参加要件の試験を実施 (試験の詳細は①「北大での学び」を通してELMSメールで連絡します) ・サステナビリティプログラム (全学教育科目関係) の授業科目履修にあたり、2年次進級希望学部的全学教育課程の卒業要件を満たすように単位修得することが望ましい。		<b>●注意事項</b> ・(# <sup>1</sup> )所属学部・学科等の専門科目に (SP指定科目) の設定があると、所属学生はプログラムを実施しやすい。 ・(# <sup>2</sup> )他学部履修で修得した専門科目 (SP指定科目) の単位を自学部の卒業要件に含める場合には、進級後の学部でご確認ください。 ・他学部専門科目等 (SP指定科目) の修得単位は、自学部の卒業要件単位への算入可・不可によらず、サステナビリティプログラムの修了要件の単位とすることができます。 ・プログラム修了要件を満たした段階で (卒業認定前でも) 修了者には、デジタル学修歴証明 (またはオープンバッジ/北大バッジ) 授与が可能です (最短で2年次在学中)。	

## 2.3. SP指定科目(必修) [全学教育科目]

### SP指定科目(必修) ①「北大での学び」[1単位]

1・2学期(オンデマンド・集中) : 全学教育科目・導入科目・1単位(全学教育課程・必修)  
(ただし2学期履修対象は現代日本学プログラム課程・ISP課程)

北大入学生全体に必要な導入教育として実施。キャンパスライフ、大学の歴史と今、将来へのキャリア形成、多様性や世界課題の中で、SDGs基礎知識を振り返り、大学のサステナブルキャンパスの歴史やSDGs関連の教育・研究環境を学びます。

<p>全学教育科目 導入科目「北大での学び」 オンデマンド(必修1単位)</p>	<p><b>第6回 世界的な課題を知る -SDGs教養-</b></p> <p>オンデマンド講義の進め方 オンデマンド講義の構成</p> <p><b>1 はじめに(導入説明)</b></p> <p><b>2 世界の課題・SDGsを知る 1</b> プラネタリー・バウンダリー 2030アジェンダ</p> <p><b>3 世界の課題・SDGsを知る 2</b> 教育メディア 自分ごと化</p> <p><b>4 サステナブルキャンパスの歴史と発展</b> 北大の持続可能な開発 THEインパクトランキング</p> <p><b>5 学部・大学院の教育課程で学ぶSDGs関連科目</b> シラバス検索 SDGs関連科目一覧</p> <p><b>6 北大生の主体的活動</b> 最後に</p>
<p>第1回 北大の今を知る 第2回 北大の歴史を学ぶ 第3回 正しく安全に学ぶために 第4回 将来を見据える 第5回 多様性を尊重する</p> <p><b>第6回 世界的な課題を知る</b></p> <p>特別回1 先輩とつながる(1) 特別回2 先輩とつながる(2)対面授業</p>	<p><b>SDGs学習サポートコーナー開設</b></p> <p>第6回講義については、SDGs基礎知識やサステナビリティの考え方などオンデマンドの基本資料だけで理解できない学生の質問に答えるコーナー開設</p>
<p>受講後の小テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全学教育科目・導入科目: 「北大での学び」全回の小テスト(5問中3問、合格するまでランダム出題繰り返し)に合格すること</li> </ul>	

#### サステナビリティプログラム参加者対象の理解度チェック

上記小テスト合格に加え、SP参加希望者にはプログラム参加要件となる試験(理解度チェック・スキル評価)を別途実施します。

#### 参加要件

1学期終了時に合わせて、サステナビリティプログラム参加希望者を対象とする試験を実施します。この試験に合格することが参加要件となります。試験の詳細は「北大での学び」を通してELMSメールで連絡します。試験に合格する前に修得した単位も、本プログラムにおいて有効となります。

### SP指定科目(必修) ②「サステナビリティ入門」[2単位]

2学期(金曜5限) : 全学教育科目・総合科目・2単位(全学教育課程・選択)

- 「サステナビリティ入門」では、**国連大学SDG大学連携プラットフォーム(SDG-UP)**カリキュラム分科会で制作された合同教育コンテンツを使用した反転授業を実施します。
- 単位取得者には「**国連大学SDG-UPから修了認定証**」が発行されます。

授業計画(2026年度)

- 授業概要・イントロダクション
- 共通の前提(UNU-IAS/関西学院大学) 開発パラダイムの変遷
- 開発・国際(大阪大学) SDGsと経済: 共感経済に基づく共助社会
- 開発・国際(大阪大学) アフリカの食料安全保障とSDGs
- 環境・持続(北海道大学) 気候科学と海洋科学
- 環境・持続(東京都市大学) カーボンニュートラルの実践
- 経済・投資(上智大学) ESG投資
- 経済・投資(愛媛大学) ヒトとヒト、ヒトとモノ、モノとモノのつながり
- 外国・共生(関西学院大学) 移民・外国人の受け入れ
- ジェンダー・人権(ノートルダム清心女子大学) SDG5実践
- 参画・変革(奈良教育大学) 歴史文化遺産
- 参画・変革(東海大学) シティズンシップ
- データ・サイエンス(北九州市立大学) 国連統計データベース
- 防災・減災(奈良教育大学) 防災・減災
- 総括・リフレクション

※講師の都合で順番が変更になる可能性があります。

SDG-UP 大学間交流 <https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/15194/>

国連大学SDG大学連携プラットフォーム SDG-UP <https://ias.unu.edu/jp/sdg-up>

### SP指定科目(必修) ③「(発展科目(科目名未定))」[1単位]

(準備中・2027年度・集中) : 全学教育科目・総合科目・1単位(全学教育課程・選択)

- 準備中・2027年度

# 3.サステナビリティプログラム授業科目とSPDBについて

## 3.1. サステナビリティプログラムデータベース(SPDB)

サステナビリティ推進機構HP:

ライブラリ > 公開資料 > HUコンステ「サステナビリティプログラム」

<https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/library/documents/constellation/>



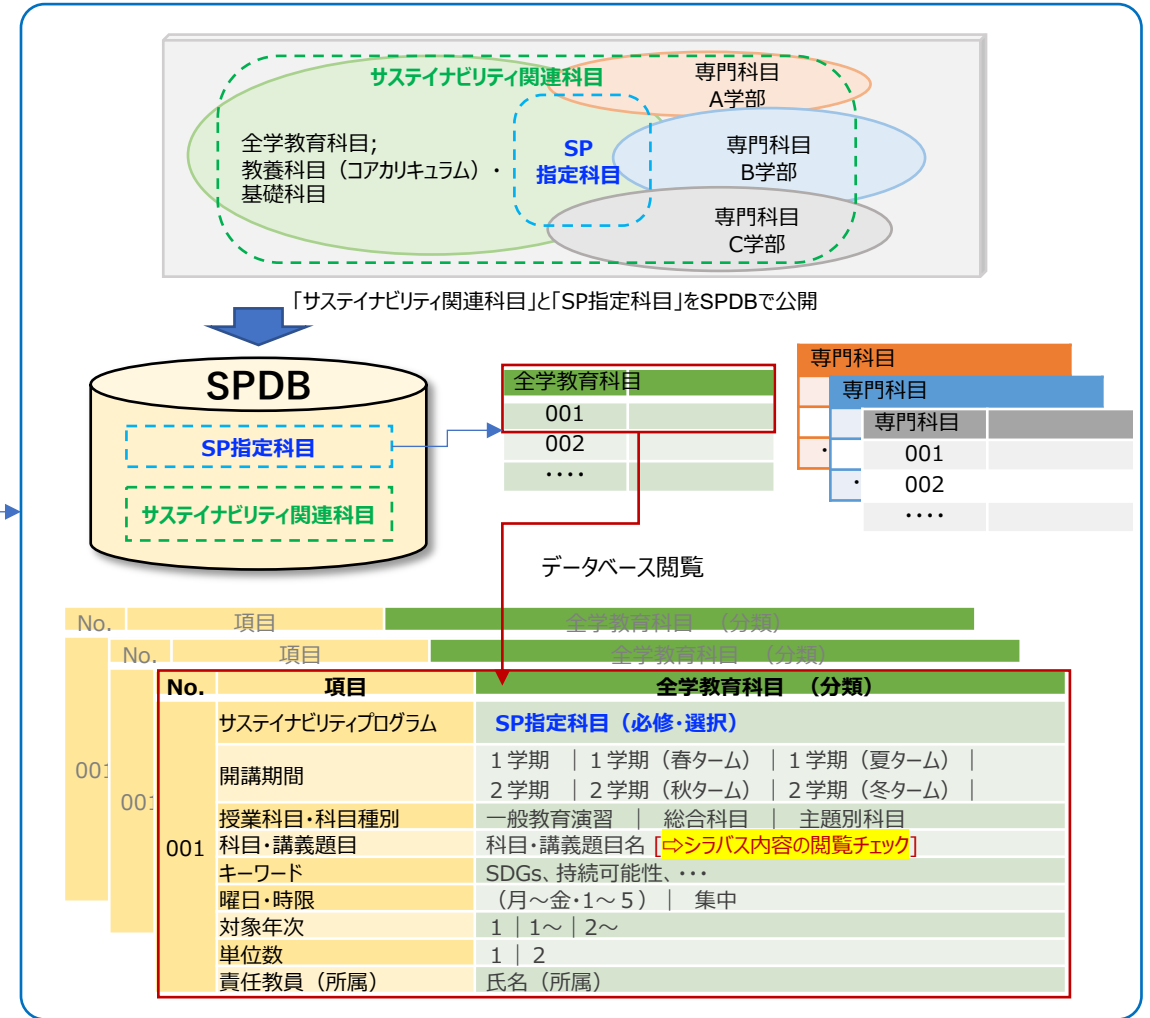
「HUコンステレーション・プログラム」

「サステナビリティプログラム」

- 修得できる能力
- 参加要件
- 修了要件
- 修了証明
- 実施主体
- 授業科目 指定科目：サステナビリティプログラムデータベース(SPDB)登録科目から選択
- (SPDB公開) HU Constellation Sustainability Program '26ダウンロード
- サステナビリティプログラム参加案内
  - ポッドキャスト（導入説明）
  - Q&A
  - 履修の手引き

### サステナビリティプログラムデータベース(SPDB)公開の効果・期待

- サステナビリティ教育支援環境の整備；プログラム参加者は履修計画の参考情報にSPDBを利用できる。
- 部局等の教育改革への取り組みの可視化：SP指定科目へ取り組む教員・部局等を一般公開。



注意：次ページに2026年度SP指定科目 (必修・選択) (全学教育科目) を示します。

- ✓ 対象年次：1；1年次対象、| 1～；1年次以降対象 | 2～；2年次以降対象
- ✓ キーワード：授業科目ごとのキーワードは、北大シラバス検索サイトから閲覧してください。
- ✓ 曜日・時限：(月～金・1～5)；1・2 学期に公開・配布される時間割に記載あります。(集中)；1・2 学期に公開・配布される時間割に記載ありません。→[LSOラーニングサポート室Q&Aを参照してください] <https://lso.high.hokudai.ac.jp/qna/course-general/3675/>  
Q: 集中講義はいつ開講されるのですか？履修登録はいつですか？

HUコンステレーション・プログラム「サステナビリティプログラム」指定科目一覧 2026（キーワードはシラバスを閲覧してください）

★全学教育科目・SP指定科目（必修）

期間	授業科目・科目種別	科目・講義題目	曜日・時限	対象年次	単位数	責任教員2026
1 学期	全学教育科目 導入科目	北大での学び	集中	1～	1	亀野 淳（高等教育推進機構）
2 学期	全学教育科目 導入科目 [対象:現日P,ISP]	北大での学び	集中	1～	1	亀野 淳（高等教育推進機構）
2 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	サステナビリティ入門	金5	1～	2	加藤 悟（サステナビリティ推進機構）
1 学期	全学教育科目 2027年度から開始予定	サステナビリティ発展（科目名未定）	集中	2～	1	加藤 悟（サステナビリティ推進機構）

★全学教育科目・SP指定科目（選択）

1 学期

期間	授業科目・科目種別	科目・講義題目	曜日・時限	対象年次	単位数	責任教員2026
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	障がいとリハビリテーション（論文指導）	火5	1～	2	長谷川 直哉（大学院保健科学研究所）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	世界をリードする北大の水環境研究	水5	1～	2	岡部 聡（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	身の回りの微生物との出会い	木2	1～	2	菊川 寛史（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	食と健康：世界の食文化から学ぶ私たちの健康	木5	1～	2	羅 云潔（高等教育推進機構）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	持続可能な開発目標(SDGs)と生命科学	金5	1～	2	出村 誠（大学院先端生命科学研究所）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	演劇創作を通じて考えるSDGs	金5	1～	2	種村 剛（大学院教育推進機構）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	International Archaeological Field School in Reibun Island	集中	1～	2	加藤 博文（アイヌ・先住民研究センター）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	牧場のくらしと自然・夏季編	集中	1～	2	河合 正人（北方生物圏フィールド科学センター（静内））
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	北海道のフィールドで協同組合を学ぶ	集中	1～	2	小林 国之（大学院農学研究院）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	森里海連環学 北大・京大合同演習	集中	1～	2	仲岡 雅裕（北方生物圏フィールド科学センター（厚岸））
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	北海道東部の水域生態系	集中	1～	2	仲岡 雅裕（北方生物圏フィールド科学センター（厚岸））
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	HBA連携講義 地域課題を解決しよう！ソーシャルアントレプレナー育成プログラム	集中	1～	2	金子 純一（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	SCSK北海道連携講義 AI活用型チームアイデア創造演習	集中	1～	2	金子 純一（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	北海道の自然と人	集中	1～	2	早川 裕一（大学院地球環境科学研究所）
1 学期	全学教育科目 一般教育演習(フレッシュマンゼミナ-)	未来の介護をデザインする：ケアロボット・アイデアソン	集中	1～	2	大林 由英（大学院医学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(人間と文化)	私たちの世界：セックス・ジェンダー・セクシュアリティを考える（2026）	火5	1～	2	宮嶋 俊一（大学院文学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	ロバスト農林水産工学（持続可能な社会に向けて現場から学ぶ）	火5	1～	2	石井 一英（大学院工学研究院）
1 学期(夏ターム)	全学教育科目 総合科目(環境と人間（1単位）)	データで考える地球環境と私たちの健康（夏ターム）	水5	1～	1	上田 佳代（大学院医学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	地球に暮らす－生活と土木・建築技術の関わり－	木4	1～	2	岸 邦宏（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	2100年人類は生存できるのか？	木4	1～	2	石井 一英（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(健康と社会)	健康スポーツ科学特論	木4	1～	2	柚木 孝敬（大学院教育学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	生命を支える共生システム-細胞から生態系レベルまで-	金5	1～	2	江澤 辰広（大学院農学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	マリンバイオ資源の化学的機能と利用	金5	1～	2	栗原 秀幸（大学院水産科学研究所）
1 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	グローバル環境科学入門	金5	1～	2	山中 康裕（大学院地球環境科学研究所）
1 学期	全学教育科目 総合科目(環境と人間)	触媒科学のフロンティア	金5	1～	2	村山 徹（触媒科学研究所）
1 学期	全学教育科目 総合科目(特別講義)	HBA連携講義 オリジナルノベルティ制作の実践で学ぶ商品開発とマーケティング	集中	1～	1	金子 純一（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(特別講義)	STARTUP HOKKAIDO連携講義 社会課題を読み解き未来を生き抜くフューチャースキルを育てよう	集中	1～	2	金子 純一（大学院工学研究院）
1 学期	全学教育科目 総合科目(特別講義)	Intensive Program - System x Design approach for launching social business	集中	1～	2	飯田 良親（高等教育推進機構）
1 学期	全学教育科目 総合科目(特別講義)	Intensive Program - Intrapreneurship, solving issues of global corporation	集中	1～	2	飯田 良親（高等教育推進機構）
1 学期	全学教育科目 主題別科目(科学・技術の世界)	はじめての生命科学	月5	1～	2	黒川 孝幸（大学院先端生命科学研究所）
1 学期	全学教育科目 主題別科目(科学・技術の世界)	海を探る～海洋科学への招待～	月5	1～	2	笠井 亮秀（大学院水産科学研究所）
1 学期	全学教育科目 主題別科目(社会の認識)	社会現象とゲーム	火1	1～	2	大沼 進（大学院文学研究院）
1 学期	全学教育科目 主題別科目(社会の認識)	社会とつながるお金の話～金融のプロが教える人生100年時代の金融リテラシー～	火1	1～	2	岩田 知子（大学院経済学研究院）
1 学期	全学教育科目 主題別科目(社会の認識)	社会体験ワークショップ	火3	1～	2	平本 健太（大学院経済学研究院）
1 学期	全学教育科目 主題別科目(社会の認識)	社会体験ワークショップ	火3	2～	2	平本 健太（大学院経済学研究院）
1 学期(夏ターム)	全学教育科目 主題別科目(科学・技術の世界（1単位）)	現代生物科学への誘い I 夏（夏ターム）	木1	1～	1	小川 宏人（大学院理学研究院）
1 学期(春ターム)	全学教育科目 主題別科目(科学・技術の世界（1単位）)	現代生物科学への誘い I 春（春ターム）	木1	1～	1	小川 宏人（大学院理学研究院）
1 学期	全学教育科目 主題別科目(社会の認識)	自然と人間のつながり	木1	1～	2	小田 博志（大学院文学研究院）

※本表は、2026年3月13日時点の情報です。

履修登録時は、シラバス等で詳細をご確認ください。

HUコンステレーション・プログラム「サスティナビリティプログラム」指定科目一覧 2026（キーワードはシラバスを閲覧してください）

★全学教育科目・SP指定科目（選択）

2 学期

期間		授業科目・科目種別	科目・講義題目	曜日・時限	対象年次	単位数	責任教員2026
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	最新医学・医療の知識で再考する医療映画/ドラマ/小説/マンガ	火5	1～	2	谷口 浩二（大学院医学研究院）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	プラネタリーヘルス：地球環境と人々の健康を考える	水5	1～	2	山内 太郎（大学院保健科学研究院）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	経営戦略入門	木3	1～	2	中川 理（大学院メディア・コミュニケーション研究院）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	海や水産の研究を学ぶグループワーク	木3	1～	2	大木 淳之（大学院水産科学研究院）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	建築と都市	木5	1～	2	菊田 弘輝（大学院工学研究院）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	メンタルヘルスとウェルビーイング入門	木5	1～	2	羅 云潔（高等教育推進機構）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	アジアの学生と日本語で世界の課題を話し合おうーオンライン協働学習ー	木5	1～	2	鄭 惠先（高等教育推進機構）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	生物資源のかしこい利用	木5	1～	2	愛甲 哲也（大学院農学研究院）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	ビジネスゲームで学ぶ会社経営の基礎	集中	1～	2	金子 純一（大学院工学研究院）
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	北大発！これからの国土ー地域デザイン〜厳寒の森と湖の里で〜	集中	1～	2	中路 達郎（北方生物圏フィールド科学センター（札幌））
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	牧場のくらしと自然ー冬季編	集中	1～	2	河合 正人（北方生物圏フィールド科学センター（静岡））
2 学期	全学教育科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	多様な価値観とライフデザイン	集中	1～	2	玉腰 暁子（大学院医学研究院）
2 学期	全学教育科目	総合科目(環境と人間)	海と生命	火5	1～	2	井上 晶（大学院水産科学研究院）
2 学期	全学教育科目	総合科目(健康と社会)	魚をたべる	水5	1～	2	熊谷 祐也（大学院水産科学研究院）
2 学期	全学教育科目	総合科目(人間と文化)	観光創造学への招待TDR、世界遺産、Cool Japan を超えて	水5	1～	2	渠 蒙（観光学高等研究センター）
2 学期	全学教育科目	総合科目(環境と人間)	サケ学入門（サケ・マスと人との関わり）	木5	1～	2	工藤 秀明（大学院水産科学研究院）
2 学期	全学教育科目	総合科目(環境と人間)	湿原の科学	金5	1～	2	山本 忠男（大学院農学研究院）
2 学期（秋ターム）	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界（1単位））	化学のフロンランナーⅠ（秋ターム）	月5	1～	1	竹内 浩（大学院理学研究院）
2 学期（冬ターム）	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界（1単位））	化学のフロンランナーⅡ（冬ターム）	月5	1～	1	竹内 浩（大学院理学研究院）
2 学期	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界)	医療・宇宙・環境・マテリアルの量子エネルギー-医工学による新展開	月5	1～	2	佐藤 博隆（大学院工学研究院）
2 学期	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界)	生命科学の最前線	月5	1～	2	比能 洋（大学院先端生命科学研究院）
2 学期	全学教育科目	主題別科目(社会の認識)	証券投資と金融リテラシー	月5	1～	2	未定（全学）（学務部教育推進課）
2 学期（秋ターム）	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界（1単位））	現代生物科学への誘いⅡ 秋（秋ターム）	水1	1～	1	小川 宏人（大学院理学研究院）
2 学期（秋ターム）	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界（1単位））	現代生物科学への誘いⅡ 秋（秋ターム）	水1	2～	1	小川 宏人（大学院理学研究院）
2 学期（冬ターム）	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界（1単位））	現代生物科学への誘いⅡ 冬（冬ターム）	水1	1～	1	小川 宏人（大学院理学研究院）
2 学期（冬ターム）	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界（1単位））	現代生物科学への誘いⅡ 冬（冬ターム）	水1	2～	1	小川 宏人（大学院理学研究院）
2 学期	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界)	生物多様性と社会	木3	1～	2	寺田 千里（大学院文学研究院）
2 学期	全学教育科目	主題別科目(科学・技術の世界)	生物多様性と社会	木3	2～	2	寺田 千里（大学院文学研究院）

※本表は、2026年3月13日時点の情報です。

履修登録時は、シラバス等で詳細をご確認ください。

# 4.サステナビリティプログラム実施スケジュール

## 4.1. プログラムの説明ガイダンス・履修・参加・修了

サステナビリティプログラム (SP) 2026年度学部入学生の参加例 (★学部2/3/4年末で修了のケース)					
年.月	学期	SP指定科目 (必修) ①②③ 全学教育科目	SP指定科目 (選択) 全学教育科目・専門科目	1年次 総合教育部、2年次各学部 全体行事、SP関係	
2026.1				学生便覧、手引き説明資料作成	
2				・2026シラバス公開 (3/6, 全学教育科目)	
3				・SP説明ウェブページ制作 (SPDB2026一覧、ポッドキャスト説明、Q&A、履修の手引き)	
4	1学期	4/8~ ①北大での学び(SP) (集中OnDemand) ↓ ↓ ↓ ↓* (①ELMSメール案内)	4/8~ 全学教育科目 (SP) ↓一般教育演習(SP) ↓ ↓総合科目(SP) ↓ ↓主題別科目(SP) ↓	4/6月 入学式 4/7火 新入生履修登録ガイダンス(教育推進課) ・新渡戸カレッジガイダンス(16:30~17:30) ・HUコンステ全体紹介 (QR ; SP説明ウェブページ) 4/7火~14火 第1次履修登録期間 4/8水 授業開始 ・SP説明ウェブページの視聴・SP指定科目履修登録 4/16木~20月 第2次履修登録期間	
5	1年 (総合教育部)			SP参加要件 (1学期終了時点で試験実施) (*①ELMSメールで実施案内)	
6					
7					
8					
9					
10		2学期	②サステナビリティ入門(SP) ↓ ↓ ↓	全学教育科目(SP) (SP指定科目追加履修)	履修登録期間 SP指定科目履修登録
11					
12					
2027.1					
2	2年 (学部学科以降)				
3					
4		1学期	③(発展的科目 (SP)) (集中開講)	各学部の専門科目(SP) (所属の教育課程内外)	履修登録期間 SP指定科目履修登録
5					
6					SP参加要件 (*1学期終了時点で試験実施)
7					
8					
9		2学期		各学部の専門科目(SP) (所属の教育課程内外)	履修登録期間 SP指定科目履修登録
10					
11					
12					
2028.1					
2				修了要件判定 (総合評価、修了、特典参加)	
3				★修了証明 (2年次末)	
4~9	3年		(追加履修)	◎デジタル証明の活用へ SP参加要件 (1学期終了時点で試験実施*)	
10~12	2029. 1~3		(追加履修)	★修了証明 (3年次末)	
1~3					
4~9	4年		(追加履修)	◎ SP参加要件 (1学期終了時点で試験実施*)	
10~12	2030. 1~3		(追加履修)	★修了証明 (4~6年次末)	
1~3					
大学院進学 / 就職					

## 2026年4月の行事予定と教育プログラムの説明ガイダンス、SP指定科目履修登録

2026.4	2026 全学教育部・総合教育部 行事予定(全学生)	教育プログラム (希望者対象)
1	水	
2	木	
3	金	新入生オリエンテーション、総合教育部ガイダンス
4	土	履修相談MANAVI
5	日	履修相談MANAVI
6	月	入学式
7	火	履修調整・登録に関するガイダンス (教育推進課) (HUコンステ全体紹介、SP説明ウェブページQR案内) 4/7~14; 第1次Web履修登録期間↓ 4/7~14; 抽選科目の申込期間(Web入力) ↓
8	水	第1学期授業開始↓ SP説明ウェブページの視聴・SP指定科目履修登録
9	木	↓ SP指定科目履修登録
10	金	↓ SP指定科目履修登録
11	土	↓ (北大での学びOnDemand) SP指定科目履修登録
12	日	↓ SP指定科目履修登録
13	月	4/13~17; 新入生定期健康診断↓ SP指定科目履修登録
14	火	↑履修登録・抽選科目申込の期限 SP指定科目履修登録
15	水	
16	木	抽選科目の結果発表日 抽選科目の追加申込日 4/16~20; 第2次Web履修登録期間(Web入力) SP指定科目履修登録 (抽選科目の追加募集)
17	金	↓ SP指定科目履修登録 (抽選科目の追加募集)
18	土	↓ (北大での学びOnDemand) SP指定科目履修登録 (抽選科目の追加募集)
19	日	↓ SP指定科目履修登録 (抽選科目の追加募集)
20	月	↑履修登録・抽選科目追加申込の期限 SP指定科目履修登録 (抽選科目の追加募集)
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	(北大での学びOnDemand)
26	日	
27	月	4/27~28; 履修時間割確認期間 4/27~28; 履修登録科目の取消期間(Web)
28	火	
29	水	
30	木	
1	金	

## 5.1 サステナビリティプログラム Q&amp;A (学生向け)2026年度版

Q 1 なぜHUコンステで「サステナビリティプログラム」を実施するのですか。	HU コンステレーション・プログラムは、リベラルアーツ教育から、専門的知識と連動し、それを拡大・強化していくためのプログラムです。「持続可能な社会の創り手」は、一般的な教養だけでなく高度な教養を基礎とした上で、専門的な知識を、それぞれの分野で発揮していくことが求められており、HU コンステのコンセプトに一致しています。全学教育科目と2年次以降の学部専門科目で提供される授業科目から「サステナビリティ」を意識的に選択する履修デザインは、専門分野とサステナビリティ思考をつなげる「厚みのある教養力」が身につくことが期待されます。2026年度から始まった「HU コンステレーション・プログラム」については、総合教育部便覧の説明を参照してください。
Q 2 サステナビリティプログラムの人材育成テーマは何ですか。	サステナビリティプログラムでは、本学の「基本理念」（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）及び「HU VISION2030（持続可能性の追求）」に基づき、各々の学問分野における専門性を修得しながら、分野横断的な教育プログラムの学びや社会共創の場などを通して、4つの力（リテラシー・スキル・マインド）を身につけ、それらを発揮できる「持続可能な社会の創り手」となる次世代人材を育成します。 北大総合博物館1F北大の挑戦コーナー「サステナビリティ推進機構」で、「北大の教育・研究のサステナビリティへの取り組みの歴史と未来像」の展示を見学することができます。
Q 3 サステナビリティプログラムで習得できる4つの能力は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サステナビリティ・リテラシー（SDGs・サステナビリティの基礎知識と展開スキル）</li> <li>・ コミュニケーション力（コミュニケーション、チームワーク・リーダーシップ）</li> <li>・ 持続可能な社会デザイン力（多様で持続可能なwell-being 社会を共創する創造性・チャレンジ精神）</li> <li>・ 社会的倫理観（社会倫理・社会貢献の精神を涵養する力）</li> </ul>
Q 4 サステナビリティプログラムデータベース(SPDB)とは何ですか。	全学教育科目と2年次以降の専門科目の枠組みで提供される授業科目から「サステナビリティ」を意識的に選択する履修デザインに見合う科目として一定の基準により選出した科目がサステナビリティプログラムの指定科目です。この指定科目の登録科目一覧をサステナビリティプログラムデータベース(SPDB)と呼びます。SPDB登録科目は <a href="#">HUコンステ「サステナビリティプログラム」紹介ページ</a> に公開していますので、指定科目の履修登録の参考として利用してください。

Q 5 サステナビリティプログラム指定科目のうち専門科目はどのように選択すれば良いですか。	サステナビリティプログラムは、2026年度入学生から年次進行で開始します。初年度は2026年度全学教育科目枠の指定科目をSPDBに公開しています。専門科目枠の指定科目のSPDB公開開始は2027年度の予定です。専門科目枠の指定科目履修は基本的には所属する学部・学科等の専門科目履修を推奨しますが、他学部専門科目の指定科目履修も単位として認められます（ただし、卒業要件単位数に参入できる他学部等科目の単位数は各学部で異なりますので、自身が所属する学部の指示に従ってください）。
Q 6 サステナビリティプログラムの参加要件は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HUコンステでは、各プログラムにおいて<b>事前の参加登録</b>が必要です。このため1学期終了時に合わせて、<b>サステナビリティプログラム参加希望者を対象とする試験</b>を実施します。この試験に合格することが参加要件となります。</li> <li>・ 試験の詳細は「北大での学び」を通してELMSメールで連絡します。</li> <li>・ 試験に合格する前（事前の参加登録前）に修得した単位も、本プログラムにおいて有効となります。</li> </ul>
Q 7 修了者「オープンバッジ」はどの時点で取得できますか。	修了要件を満たした学期末に取得可能です。すなわち、卒業要件を待たずに各学部在学中に取得し、学修成果のデジタル証明として活用することができます。
Q 8 修得した単位は、進級・卒業に必要な単位として認められますか。	「サステナビリティプログラムの指定科目」として履修・修得した単位は、各学部規程において定められている範囲で、進級・卒業に必要な単位として認められます。したがって、各自が進級したい学部・学科等の「全学教育科目の卒業要件となる単位数」を取得する際に、「サステナビリティプログラム指定科目」（SPDB登録科目一覧）から選択し単位取得できるよう履修計画を立ててください。
Q 9 サステナビリティプログラムと教職の両立は可能でしょうか	可能です。ただし、授業が被る場合は、自分で取捨選択して時間割を組んでいくことになります。